

■ サウンディング事業概要資料

1. 阿久比スポーツ村の概要（施設概要、利用料金等）
2. これまでの検討の経緯
3. 本施設の再整備におけるコンセプト
4. 本施設に求める機能
5. 事業スケジュール

阿久比スポーツ村の概要

- 阿久比スポーツ村は、阿久比町中央の丘陵部に広がる総面積約 96,000 m²のスポーツ施設です。

所在地	愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字浅間裏 3 番地 2
都市計画	市街化調整区域
アクセス	- 阿久比スポーツ村は、知多半島道路の阿久比 IC から自動車で約 5 分に位置する - 公共交通機関は、阿久比町循環バス「アグピー号」が 1 日 5 便運行されている

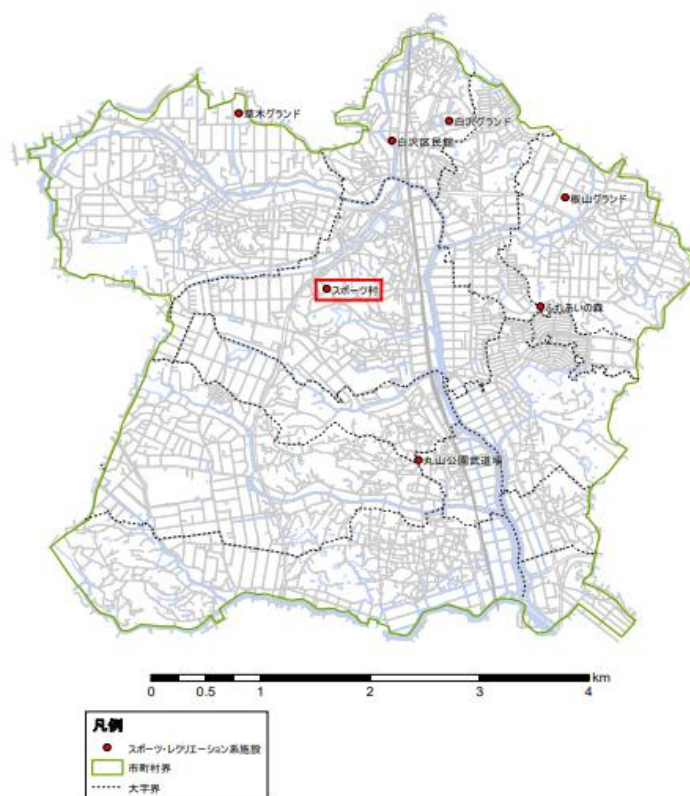


図 阿久比スポーツ村の位置図

阿久比スポーツ村の概要

全景



阿久比スポーツ村の概要

野球場



陸上競技場

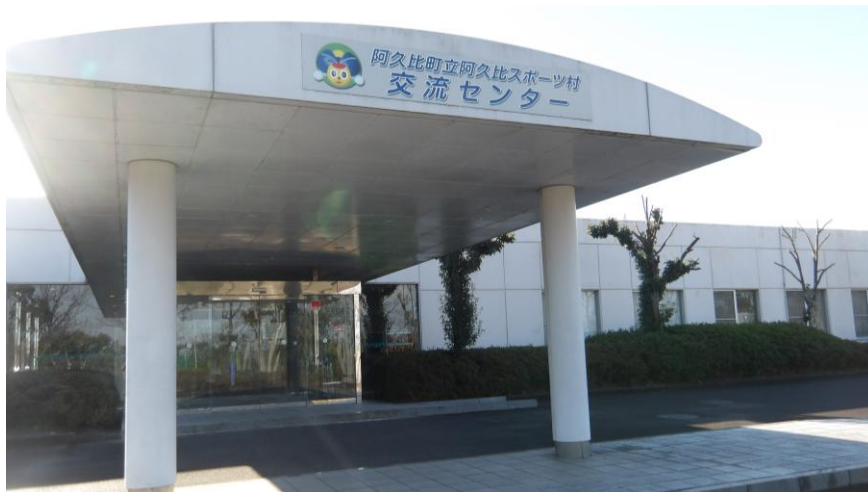


室内練習場



阿久比スポーツ村の概要

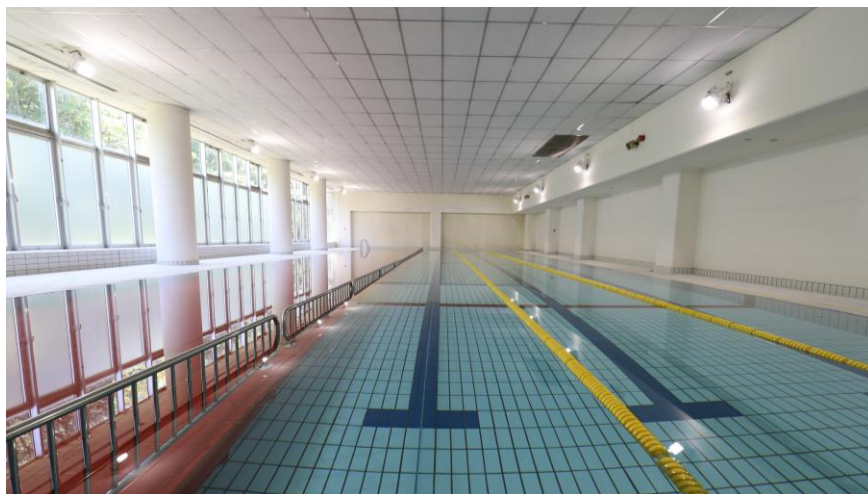
外観



多目的体育館



プール



トレーニング室



阿久比スポーツ村の概要

会議室



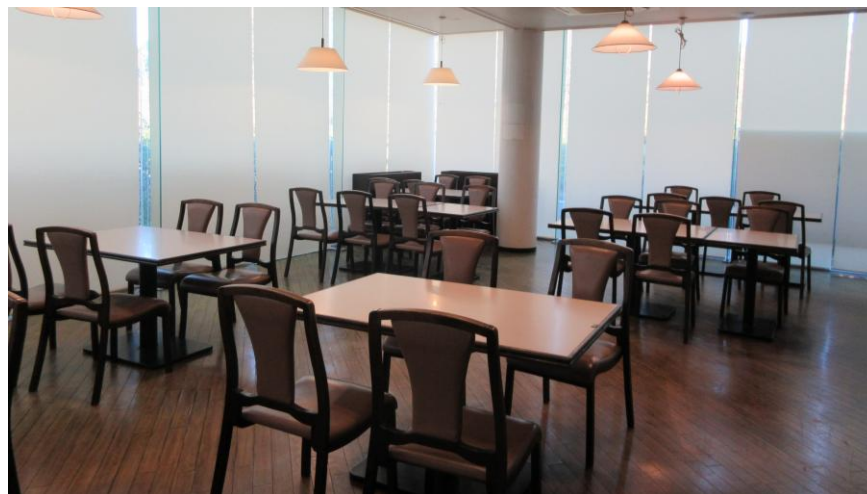
応接室



相談室



休憩室



阿久比スポーツ村の概要

- 本施設の使用料収入は以下のとおりです。

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
6,901,770円	6,031,840円	4,400,470円	4,815,377円	6,988,185円	7,404,331円	7,419,352円	8,436,996円

阿久比スポーツ村の概要

- 阿久比スポーツ村に設置されている主な施設は、「交流センター」、「野球場」、「陸上競技場」、「室内練習場」及び「クラブハウス」で、各施設の概要は次表のとおりです。

施設名称	施設内容
交流センター	・多目的体育室（バスケット 1 面またはバレーボール 1 面またはバドミントン 3 面） ・研修室 A・B（定員各 50 人） ・会議室（定員 16 人） ・応接室（定員 12 人） ・相談室（定員 12 人） ・休憩室 ・屋内プール ・更衣室 ・トレーニング室（※） ※公衆Wi-Fi環境（Cat5eレベル）までは標準インフラとして今年度整備予定。多目的体育室、研修室A・B、会議室、応接室、相談室、トレーニング室、休憩室で利用可能となる見込み。 ※交流センター内には貸し室以外にも6畳程度の諸室があり、利用することも可能。
野球場	・両翼 98m、中堅 122m ・スタンド 6,000 人収容（内野 2,000 人、外野 4,000 人） ・ダッグアウト ・ブルペン ・ロッカールーム ・放送室 ・スコアボード ・バッティングゲージ 2 台 ・各種防球ネット
陸上競技場	・全天候型 400m トラック（6 コース） ・グリーンサンド走路（2 コース） ・フィールド内総芝張り 105m×68m（国際サッカー競技場規格） ・陸上、サッカー競技施設・器具
室内練習場	・ピッチング、守備等練習場
クラブハウス	・子育て支援センター「あぐぴっぴ」 ・教育相談センター ・教育支援センター「こすもす」
駐車場	・約 400 台

※トレーニング室の主な機器

- ・トレッドミル（ランニングマシン） 4 台 ・コードレスバイク 4 台 ・ジョーバ 1 台
- ・パーフェクトボディ（振動型トレーニングマシン） 1 台 ・レッグカールマシン 1 台 ・バタフライ＆ローイングマシン 2 台 ・ダンベルほか

阿久比スポーツ村の概要

- 阿久比スポーツ村内にある施設の建物は、「交流センター」、「野球場スタンド」、「野球場スコアボード」、「室内練習場」、「陸上競技場本部席」、「倉庫 A」、「倉庫 B」、「倉庫 C」、「多目的トイレ」、「守衛室」及び「クラブハウス」で、各施設の概要と配置は以下の図表のとおりです。

施設名		図中番号	構造※	階数	延床面積（㎡）	建築年度
交流センター		①	RC 一部S	2	5,261.45	1988
野球場	スタンド	②	RC	1	848.22	1987
	スコアボード	③	S	2	91.00	1987
室内練習場		④	S	1	1,646.26	1975
陸上競技場	本部席	⑤	S	1	149.00	1988
倉庫	倉庫A	⑥	S	1	215.94	1988
	倉庫B	⑦	S	1	31.36	1989
	倉庫C	⑧	S	1	212.71	1975
多目的トイレ		⑨	RC	1	12.13	2021
守衛室		⑩	S	1	1.00	1989
クラブハウス		⑪	S	2	1,103.00	1988

※RC：鉄筋コンクリート造 S：(軽量)鉄骨造

阿久比スポーツ村の概要

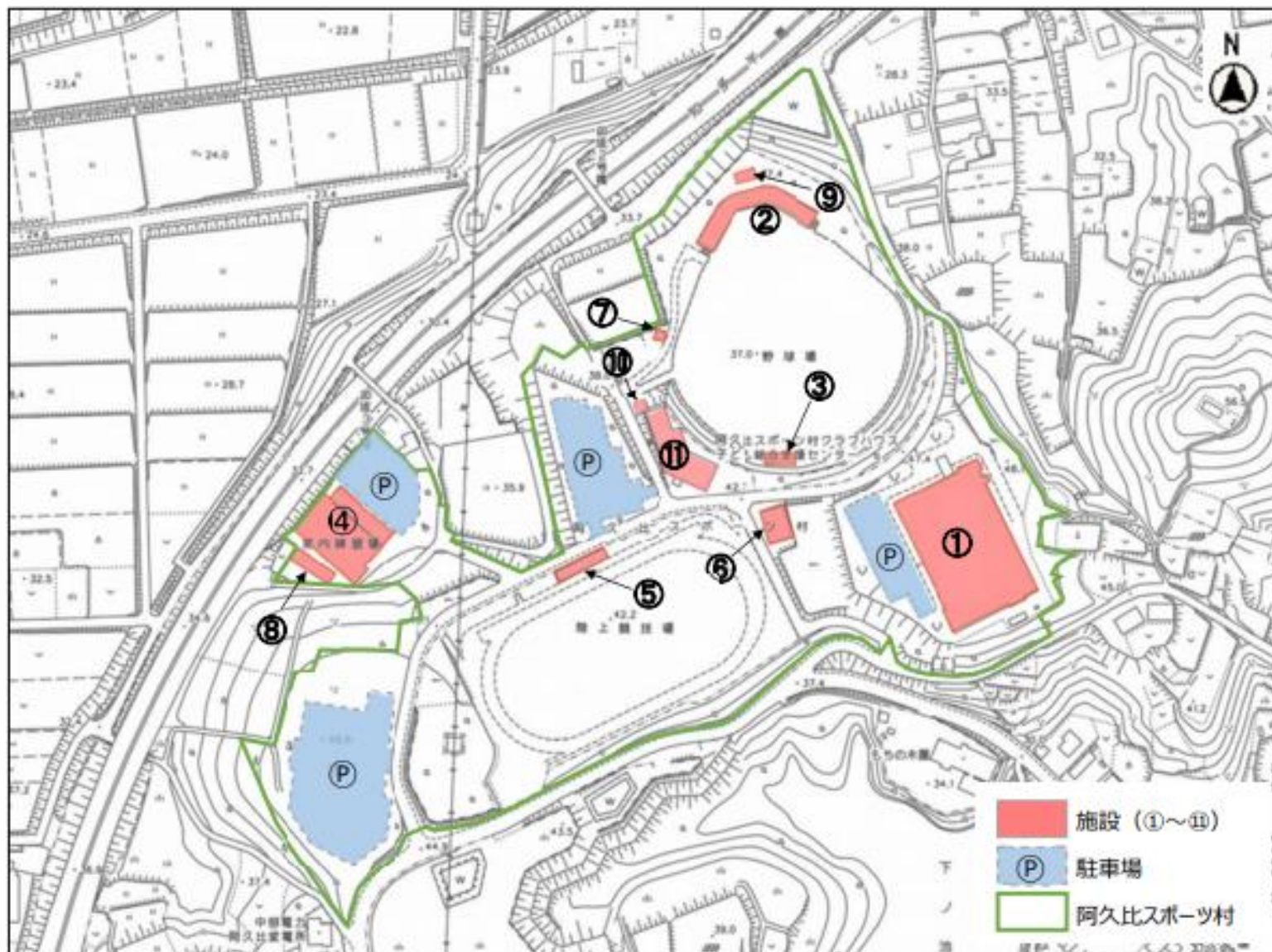


図 各施設の配置図

阿久比スポーツ村の概要

- 各施設の利用料金は以下のとおりです。

施設	利用区分	料金
陸上競技場・野球場（共通）	個人：小中学生／一般（1回）	100円／210円
	専用・入場料徴収なし：平日／土日祝（1時間）	3,000円／4,000円
	専用・営利目的以外：平日／土日祝（1時間）	6,000円／8,000円
	専用・営利目的：平日／土日祝（1時間）	15,000円／20,000円
室内練習場	一律（1時間）	1,050円
トレーニング室	中学生以上（1回）	200円（11回券2,000円）
交流センター・プール	個人：一般／小中学生・町内65歳以上（1回）	400円／200円（各11回券あり）
	団体20人以上：一般／小中学生・65歳以上（1回）	320円／160円
交流センター・多目的体育室	個人：小中学生／一般（1回）	100円／210円
	専用・入場料徴収なし（1時間）	1,100円
	専用・営利目的以外／営利目的（1時間）	2,200円／11,000円
交流センター・相談室／応接室	各（1時間）	200円
交流センター・会議室／研修室A・B	各（1時間）	400円

阿久比スポーツ村の概要

施設	区分	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
トレーニング室	利用者数（個人のみ）	11,764	9,328	1,258	2,475	3,200	4,403	4,822	6,213
陸上競技場	フィールド・団体件数	85	93	75	78	92	94	72	－
	トラック専有・団体件数	240	230	197	208	255	242	228	－
	トラック個人利用者数（人）	2,639	1,627	1,642	2,471	2,067	2,171	1,371	－
野球場	団体件数	244	242	187	248	257	262	264	－
室内練習場	団体件数	190	172	160	176	238	244	307	－
交流センター 多目的体育室	個人・件数	－	－	－	－	547	533	602	680
	個人・人数	－	－	－	－	547	533	689	682
	団体・件数	－	－	－	－	591	700	831	871
	団体・人数	－	－	－	－	11,201	13,618	16,376	16,229
プール	利用者数（個人のみ）	－	－	－	－	－	－	391※	4,332

※ プールはR6年度3/18～3/31のみの記録（使用開始年度のため）。R7が実質初年度の通年データ。トレーニング室・プールは個人利用のみのため団体区分なし。陸上競技場・野球場・室内練習場のR7データは集計中。

これまでの検討の経緯

- 以下のとおり各調査を実施し、その結果を分析することで、コンセプトを導き出しました。

	フューチャーセンター 2026年3月／22名	住民意向調査 (アンケート調査) 2026年2～3月／約1,000人	スポーツクラブ意向調査 2026年1～2月／4クラブ
概要	- 手法：多様な立場の人々が集まり、対話を通じて課題解決策や望ましい未来を共創する場 - 目的：阿久比スポーツ村の将来像について、住民・関係者の意見を対話形式で収集する	- 手法：Webアンケートによる定量調査 - 対象：阿久比町民、近隣市町住民 - 回答数：977件 - 目的：住民の外出行動・施設選択の実態を把握し、スポーツ村に必要な機能を抽出する	- 手法：知多半島周辺で活動する主要スポーツクラブへの個別ヒアリング - 対象：名古屋グランパス・FC刈谷、シーホース三河、名古屋オーシャンズ - 目的：各クラブのトップチーム・ユース・スクール等における課題やニーズを把握する
主な結果	- 現状の課題：アクセスの悪さから足が向きにくいという声や、スポーツ以外の目的で訪れる理由が少ないという指摘。飲食・休憩ができる場所が少なく、長く滞在しづらいことも「行きにくさ」の一因 - 求められている機能：カフェ・レストラン、温泉・健康増進施設、マルシェ・イベント等、スポーツ以外の目的でも自然に立ち寄れる複合的な機能への期待。子ども体験・遊び場、宿泊・キャンプなど、滞在を伴う過ごし方への期待も - 将来像：「スポーツを核とした複合交流拠点」として、多世代がそれぞれの過ごし方で一日を過ごせる場所になってほしいという声	- 日常の外出は、商業施設・飲食店・公園など複数の目的を兼ねた利用が中心で、場所を選ぶ際は「行きやすさ」を最も重視する傾向にある - 阿久比スポーツ村は認知度が高い一方、実際に利用した人による推奨意向は低く、「どのような施設か詳しく知らない」という声が利用のハードルになっている - 今後の活用については、本格的な競技利用に限らず、軽い運動や日常的な立ち寄り・休憩など、多様な過ごし方への期待が示されている	- ユース・スクールの活動場所が慢性的に不足し、公共施設は抽選利用が多く定期的な活動拠点の確保が難しい - 知多エリアは広域からアクセスしやすい立地の強みがある一方、育成拠点としては人口規模・アクセス面で中心都市に一步劣る - 拠点には、曜日・時間固定で使える安定的な利用、夜間照明、複数面フィールド、更衣室等の付帯機能が求められている

コンセプト

- 前述の調査を踏まえ、以下のとおりコンセプトを抽出しました。

町の誇りを育む「阿久比町を象徴し、多世代が集うスポーツ・文化・交流拠点」

- スポーツだけに留まらず、「文化・健康・自然・交流」を包括する町のランドマークを目指す
- 過去の野球場としての歴史、豊かな自然、多様化する町民ニーズに応え、町民が誇りを持ち、町外へ阿久比町の魅力を発信する拠点とする

1

日常に寄り添う コミュニティパーク

ターゲット：町内

- 町民が日常的に訪れ、生活の中で自然と利用できる“ひらかれた居場所”としての役割を担う
- 子育て支援から健康づくりまで、町民の暮らしと密接に結びつく基盤機能を強化

2

知多半島の次世代アスリートを 育てる育成拠点

ターゲット：町内・外

- 広大なフィールドと野球場の価値を活かし、マルチスポーツの“育成・挑戦の場”としての機能を強化
- プロ・アマの練習の拠点、学生の合宿、個人トレーニングなど成長機会を求める人々を地域に呼び込む

3

野球の歴史を未来につなぐ メモリアルパーク

ターゲット：町外

- スポーツ村に眠る“プロ野球の記憶”と豊かな自然環境を磨き上げ、町外から人を呼び込む観光・交流人口創出の拠点として機能
- 地域資源を価値化し、町全体のブランド向上に寄与

本施設に求める機能

- コンセプトを踏まえ、本施設に求める機能以下のとおり整理しました。また、ゾーニング（案）は別紙のとおりです。

No	コンセプト	抽出する機能	利用シーン・価値	対応施設・エリア	種別	位置づけ※	整備・運営イメージ(例)
1	①	飲食・休憩・滞在機能	運動しなくても立ち寄れる	交流センター	ハード＋ソフト	◎基本実施	休憩ラウンジ・ロビー改修、軽飲食スペース整備、常設カフェ
2	①	保護者待機・見守り機能	送迎・待ち時間を快適に過ごせる	交流センター	ハード	◎基本実施	キッズスペースの設置
3	①	案内・情報発信機能	初めて来ても使いやすい	全体	ハード	◎基本実施	統一サイン、QRコード、Web連携
4	①	マルシェ・キッチンカー対応機能	週末に人が集まる	交流センター駐車場	ハード	◎基本実施	電源の設置、キッチンカー区画の設置
5	②	固定利用・予約機能	安定して活動場所を確保できる	全体	ソフト	◎基本実施	オンライン予約・入退室管理・支払い電子化・混雑可視化
6	③	歴史展示機能	野球場としての"プロ野球の記憶"を伝える	交流センター	ハード＋ソフト	◎基本実施	展示コーナー、備品展示、写真・年表・解説パネル
7	③	入口演出・サイン機能	初めて来た人にも歴史が伝わる	野球場	ハード	◎基本実施	野球場入口メモリアルサイン、記念プレート、フォトスポット
8	③	メモリアルウォーク機能	歩きながら歴史を知る	野球場・周辺外構	ハード＋ソフト	◎基本実施	園路を歴史の道として演出、解説板QRコードの設置、ベンチの設置

※◎基本実施：基本方針として実施、○要検討：効果・費用を確認のうえ実施を検討、△民間確認：民間の参画以降を確認して判断、▶将来構想：将来的な検討課題

本施設に求める機能

No	コンセプト	抽出する機能	利用シーン・価値	対応施設・エリア	種別	位置づけ※	整備・運営イメージ(例)
9	①	軽運動・散策機能	健康づくりで日常利用する	全体	ハード	◎基本実施	ジョギングコース、健康遊具、距離表示、休憩ポイント
10	①	回遊・動線機能	施設間を回遊・滞在する	交流センター駐車場	ハード	○要検討	スケートボードパーク、健康遊具コース、ベンチ・休憩ポイント、ドッグラン
11	①	ペット同伴・交流機能	ペット連れでも来られる	交流センター駐車場	ハード	○要検討	ドッグラン、フェンス・水飲み場設置
12	②	夜間利用機能(照明)	平日夜間にスクール・練習ができる	野球場／陸上競技場	ハード	○要検討	高照度LED照明、電源容量確認・照明柱増設
13	②	大会・交流機能	大会・交流試合ができる	陸上競技場	ハード＋ソフト	○要検討	観覧・待機スペース、簡易放送・スコア表示、動線整理
14	③	デジタルアーカイブ機能	展示面積が小さくても情報量を持たせる	交流センター	ソフト	○要検討	QR・Webアーカイブ・デジタルサイネージ
15	③	パブリックビューイング機能	スポーツを地域全体で応援する	野球場・周辺外構	ハード＋ソフト	○要検討	大型ビジョン・スクリーン・音響設備
16	③	イベント・収益機能	民間収益や観光につなげる	全体	ソフト	△民間確認	野球教室・聖地巡礼ツアー・協賛
17	②	複数面フィールド機能	複数競技・複数面で稼働させる	全体	ハード	▶将来構想	人工芝フィールド整備、サブグラウンド

※◎基本実施：基本方針として実施、○要検討：効果・費用を確認のうえ実施を検討、△民間確認：民間の参画以降を確認して判断、▶将来構想：将来的な検討課題

事業スケジュール（仮）

- 本年度基本構想を策定し、来年度以降のスケジュールを決定する予定です。事業手法の検討状況に応じて、実施内容・時期は変動します。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本構想の 策定	基本設計		実施設計	